

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 吉村 大悟さん・雅子さん(野田村)

取材担当 久慈農業改良普及センター 加藤清吾

令和5年に野田村で新規就農した吉村大悟さん・雅子さんご夫妻を紹介します。

神奈川県出身の大悟さんと花巻市出身の妻雅子さんは、令和2年に野田村の地域おこし協力隊員に就任。山ぶどう生産支援員として、管理収穫作業や関連イベントの開催支援等を主な業務として活動しました。この間、並行して、ピーマン等野菜生産を研修し、就農に向けた準備を進めてきました。

協力隊の任期終了後、令和5年9月にご夫婦で就農し、5年は雨よけほうれんそうを、6年は露地ピーマンを中心に春播きブロッコリーと雨よけほうれんそうを組み合わせた栽培を行いました。

吉村さんは、令和6年度新規就農スタートアップ支援事業を活用して半自動移植機とセット動噴を購入しました。ブロッコリーの面積拡大や、病害虫防除の徹底による各品目の品質向上が期待されます。

また、吉村さんは就農を契機に家族経営協定を締結し、家事などを含めて役割分担を明確にした農業を営んでいます。

現在は技術を磨いている段階ですが、徐々に生産基盤が整ってきており、順調に規模を拡大し、ご夫婦で野田村農業の担い手になっていくことが期待されます。



協力隊時代の吉村さん夫妻



ブロッコリー栽培の様子